

令和4年度 事業報告

1 概況

全世界で猛威をふるった新型コロナウイルス感染症については屋内・屋外を問わず、マスクの着用は個人の判断に委ねられることになりましたが、まだしばらくは必要に応じて感染防止の取組を行う必要があるものと思います。

そのような状況下、少子高齢化が進んだ日本では、労働力人口の減少に伴い、生涯現役社会としてシルバー人材センターにかかる期待はますます高まっています。

そうした中、光熱費をはじめとする諸物価高騰により、暮らしには厳しさが増して来ており、当センターの令和4年度の契約金額は、受託事業が10億3,509万1,984円（前年比1,486万952円減）、派遣事業が7,032万1,782円（前年比655万9,471円増）となり、合計で11億541万3,766円（前年比830万1,481円減、率にして0.75%減）となりました。

令和5年10月1日からは消費税制度が変更され「適格請求書等保存方式」（インボイス制度）が導入されるなど、変化の激しい社会情勢の中、「自主・自立」「共働・共助」というシルバー人材センターの基本理念にのっとり、役職員及び会員一同が協力し合いながら取り組んでまいりますので、会員の皆様により一層のご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

2 事業の実施状況

(1) 普及啓発活動の推進

新型コロナウイルス感染症拡大により中止となっていた各市のまつりが3年ぶりに開催され、当センターもそれに合わせて事業広報を行うとともに、バス車内放送広告や市役所インフォメーション掲出等も行い、センター事業の普及啓発に努めました。

また、各市の広報紙へシルバー人材センターの紹介記事を掲載するとともに、広報委員会が発行したシルバーだよりを公共施設等に配架するなどして普及啓発活動を推進いたしました。

(2) 会員増強及び就業機会の開拓と提供

会員増強については、従来どおり、市掲示板や各市広報紙へ紹介記事を掲載するなどの普及啓発活動を行いました。

また、新聞折り込み広告の実施や三市において出張説明会を10月、11月、2月、3月に開催したほか、休日出張説明会や女性限定の出張説明会を前年度に引き続き開催するなど会員増強に努めましたが、新型コロナウイルス感染症の影響や65歳定年制度の広がりにより思う様な結果に

は至りませんでした。

就業機会の開拓と提供については、就業機会開拓専門員が新規・既存受注先の訪問等を行い、開拓に努めましたが景気の伸び悩みにより、受託事業・派遣事業合わせて契約額は前年比0.75%減となりました。

(3) 安全・適正就業の推進

安全就業では、前年度に引き続き安全委員会による就業場所巡回を3回実施したほか、安全標語の募集や安全就業だよりを配布する等、さまざまな方法で事故防止の働きかけを行いました。令和4年度は残念ながら、前年度の12件より9件増の21件の傷害事故が発生し、また賠償事故も3件発生するなど、安全就業の推進に大きな課題が残る結果となりました。

適正就業の推進については、法令を遵守することが会員を守ることに繋がるといふ埼玉県シルバー人材センター連合の指導の下、シルバー人材センター事業として高齢者にふさわしい働き方となるように業務の整理・見直しを行い、発注先と交渉を行いました。

(4) 組織運営体制の整備・充実

公益財団法人いきいき埼玉等による職員研修やオンライン会議等へ積極的に参加し、組織運営の在り方や事務の効率化等を図りました。

(5) 情報提供及び調査研究

ホームページを活用し、さまざまな情報を発信するとともに、定期的にお知らせを更新いたしました。

また、近隣のシルバー人材センターと情報交換を行い、情報収集と調査研究に努めました。

(6) 研修等

ア 新規入会希望者への入会説明会の実施

新規入会希望者に対し、センター事業の基本理念、就業形態の仕組み及び当センターの現状を理解していただくため、新規入会説明会を毎月実施するとともに、出張説明会を開催した結果、令和4年度は300名の新規入会者がありました。

イ 技能研修の実施

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、手指の消毒、マスク着用の徹底、検温等を行いながら、会員の就業意識及び仕事の資質向上を目的として、接遇研修、植木剪定講習を実施いたしました。

接遇研修は、主に公的な施設管理業務に就業する会員を対象として1月

及び2月に10回開催し、331名が受講しました。

植木剪定講習は、朝霞市内の公園及び小学校を会場として、2月に8日間開催し、13名が受講しました。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、中止となった事業は、会員研修親睦旅行、普通救命講習及び自転車運転講習、でございます。

ウ 会員親睦研修旅行

新型コロナウイルス感染症の影響から令和4年度も中止といたしました。

(7) 派遣事業

公益財団法人いきいき埼玉における派遣事業の実施事務所として、令和4年度は朝霞市内のスーパーで新たに派遣業務を開始したこともあり、派遣会員の賃金及び手数料は、合計7,032万1,782円（前年比655万9,471円増、率にして10.3%増）の実績となりました。

3 入退会会員状況

(単位：人)

令和4年4月1日 現在数		入会者数		退会者数		令和5年3月31日 現在数					
男	女	男	女	男	女	男	女				
1,435	759	185	115	214	123	1,406	751				
合計 2,194		合計 300		合計 337		合計 2,157					
朝霞	志木	和光	朝霞	志木	和光	朝霞	志木	和光			
1,320	498	376	172	78	50	192	84	61	1,300	492	365

退会者の内訳 死亡8人、健康上59人、転出11人、加齢32人、就職43人

希望の仕事なし29人、その他155人

※その他（家庭の事情、就業機会なし、未回答）

4 年齢別会員登録状況

区分	60才未満	60才～64才	65才～69才	70才～74才	75才～79才	80才以上	合計
男	0人	39人	251人	508人	390人	218人	1406人
女	0人	56人	147人	257人	198人	93人	751人
計	0人	95人	398人	765人	588人	311人	2157人

5 事業実績

(1) 月別事業実績表（請負・委任）

項目 年月	受注 件数	就業人員		契約金額			
		実人員	延人員	配分金	事務費	材料費	計
	件	人	人	円	円	円	円
R4年 4月	704	1,317	16,673	65,348,765	5,761,446	20,827,514	91,937,725
5月	175	1,327	17,197	68,602,673	5,141,370	8,610,278	82,354,321
6月	204	1,335	17,894	71,666,254	5,469,082	8,851,079	85,986,415
7月	174	1,333	17,044	68,244,333	6,243,473	20,827,324	95,315,130
8月	140	1,333	15,962	64,342,378	4,761,720	8,561,980	77,666,078
9月	182	1,346	17,505	69,576,076	5,276,632	9,026,183	83,878,891
10月	194	1,346	17,783	71,428,038	5,500,456	20,967,351	97,895,845
11月	200	1,340	17,279	69,276,279	5,159,330	8,724,557	83,160,166
12月	174	1,339	16,685	66,363,429	4,901,421	8,572,286	79,837,136
R5年 1月	85	1,316	15,594	61,497,016	4,438,555	27,795,220	93,730,791
2月	47	1,322	15,827	62,015,206	4,463,115	11,339,398	77,817,719
3月	72	1,331	17,274	68,796,339	6,850,448	9,864,980	85,511,767
計	2,351	※1,585	202,717	807,156,786	63,967,048	163,968,150	1,035,091,984

※年間就業実人員（就業率73.5%）

(2) 派遣事業（公益財団法人いきいき埼玉シルバー人材センター連合朝霞地区事務所）

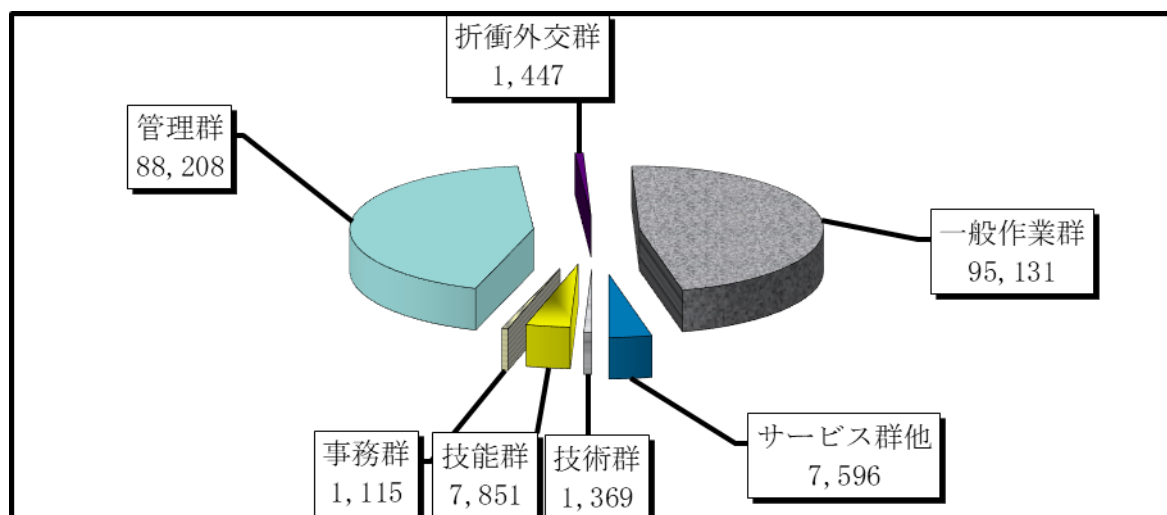
受注件数	派遣就業 延人員	会員賃金	手数料等	合計
62件	10,449人	54,361,550円	15,960,232円	70,321,782円

(3) 受注先別金額・件数割合（請負・委任）

区 分		公 共	民 間	個 人
令和4年度	金額	55.2%	39.0%	5.8%
	件数	18.4%	53.3%	28.3%
令和3年度	金額	55.3%	39.0%	5.7%
	件数	18.2%	54.4%	27.4%

(4) 職群別就業状況（請負・委任）

（単位：人）



※就業延人員 202,717 人の内訳

(5) 配分金の推移

